

30	2585	海軍指定奥建 田村組承包	p.161-180	p.72-92	各項建築工 程與承包商	南支課長	海軍事務所 所長	海建第30號 S14.8.5	建築事業進捗 狀況報告ノ 件	昭和十五年 十六年上	海軍建築事業 總局
----	------	-----------------	-----------	---------	----------------	------	-------------	-------------------	----------------------	---------------	--------------

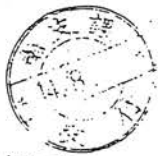
テ輸送セルモノ數十萬圓、將來之等計畫事業ノ完成ヲ見ル曉ニハ恐ラ
ク數千萬圓ニ達スルデアラウ。派遣人員、駐在員ハ今日ニテ四百數十
名、社外ノ關係技術者、調査員、大工、職工、労働者ヲ加フレバ一千
名ニ垂ントス。

シカモ之等事業ハ其大半公共的性質ヲ帯ビ多大ノ資金ヲ固定シ、其
間收ハ容易ノコトデナイガ自ラ進ンデ之等事業ノ術ニ當ラントスル所
以ハ、政府ノ代行機關タリ、半官半民ノ特種使命ヲ負フ吾社ノ立場ヲ
深ク自覺シ、千載一遇ノ今次聖職ノ偉業ヲ顯々顯彰スルニ幾分ニテモ
役立テントスル意圖ニ外ナラナイノデアル。

昭和十四年八月五日

南支課長殿

海軍事務所長



海建第30號

各種事業進捗狀況報告ノ件

昭和十四年六月二十九日附支第一六二号ヲ以テ御照會越シノ
件左記ノ通り有之候條及回答候也

記

一秀英ニ於ケル日本人新市街建設、市区計畫ハ大体決定シ
其ノ区域約二十万坪ニシテ人口約二万人ヲ收容スル計畫、
模様ナルモ單ヨリ正式發表ナキ為ニ内容詳カナラス只海

軍建築事業進捗狀況報告ノ件

軍調査隊本部及其附屬並將來ニ於ケル領事館、
位置ハ決定シ居ルモ他ハ不明ニシテ從ツテ將來、日本人
街ニ對スル計畫ハ目下、處未定ナリ

二海軍ヨリ指定サレタル建築ハ海軍慰安所並海軍調
査隊本部及其、附屬建築物ト三亞榆林ニ於ケル
煉瓦工場等次、（十中其内倍）カシ

(1) 海軍慰安所 (工事完了)

總工費 三万九千八百參拾圓九拾貳錢也

總坪數 三百七坪五合

木造平家建 屋根ルーフチング 二重葺

請負者 田村組

(2) 海軍調査隊本部及其、他 (海口及三亞ノニテ所)

總工費 貳拾壹万四千五百六十圓也

總坪數 千三百六坪七合五勺 (海口八百三十五坪
三亞四百七十一坪七合五勺)

木造平家建 屋根スレート葺

請負者 田村組

但海口、分ハ水工事切刻シ一部ハ組立基礎地形施工中ニシテ

三亞、分ハ及致物建築中ニシテ去ル七月二十七日、便船

ニテ奥原者一行(約五十名)現地ニ向ヒタリ

(3) 海軍ノ御下命ニ依リ本島南部三亞及榆林方面ニテ

一ヶ月二十万圓、製品出未得ル煉瓦工場設置ノ事ト

ナリ之カ準備工作並三亞ニ本社事務所開設スヘク

去ル七月二十七日長瀬所長代理島本技手外一名現地

三亞ニ向ケ出發セシムト共ニ本社ヨリ派遣、煉瓦職工

十八名ヲ八月六日海口出帆、めなご丸ニテ出發セシ本
事業、達成ニ努力中ナリ

三、前各埠以外已ニ實施シタル修繕工事並新築工事、内
容略々如シ

(一) 新築工事内容
の製氷工場

本工事ハ建築ヲ急ギシ為テ平面計畵ニテ手向貨請負
ヲ以テ施工シ現在全工事ハ八分、出来上ナリ

總工事費見込額、四万五千圓也
總坪数、八十二坪

總工事手向貨、四千八百圓也(外ニ道路肉鑿費三百圓也)
但、我料社給トス

外壁石造内部陶仕切壁煉瓦積

床、コンクリート打一部天井筋コンクリート造

屋根木造 スレート葺(波形)

請負者、清水組

(四) 博愛病院

總工事費(目下見積中)

總坪数、三百坪

木造平家建(目下小屋掛ニ着手準備中)

請負者、清水組

(三) 材葉榆林製氷工場

總工事費(目下見積中)

總坪数、六百九十五坪

請負者大倉組

(2) 修繕及模様替工事内容

場所	完了	請負者	工事費	備考
一 總督府事務所	完了 自六月十五日 至七月二日	田村組	五八五五	着手完了月日不明 模様替修繕工事
二 企		企	五〇〇	
三 總督府廳舍及 警察署廳舍		企	七二〇〇	海軍警察署六月十五日完了 本館六月十五日着手現在九分 通完了
四 華南銀行海口出張所	六月三十日 完了	田村組	四八四三	海軍警察署着手平 本館廳舍 二九三七四七。成 海口警察 二二一三四 岡山警察 二〇五〇四
五 岡山農場建物		企	一六一四〇	各主任者直接請負人ニ工事命シ タレモノニシテ内容調査中
六 秀英苗圃建物		企	一五〇〇〇	同上

要

七 自動車公司建物	完了 自五月十三日 至五月十八日	田村組	四〇〇〇〇	同上
八 自動車公司偏倉		清水組	一六七二五	材料社給ニテ精算中 約七百圓、見込
九 建駒公司建物		手向	三五六七五	同上
十 台紙社負宿舍		手向	三六九五〇	同上
十一 自警團本部		手向	四五〇〇	同上
十二 舊庁公司建物		手向	二〇〇〇〇	同上

(3) 其他、附帶事業

井戸掘、ハ台紙ノ寺田高倉ヲシテ之ニ當ラシメタツアリテ現在迄
十ヶ所ニ於テ鑿井中ニシテ其、内容左ノ如シ

第一号井 (日本人街予定地、試掘)

(小) 工事期間 四月二十日 着手 二十日 旬
五月十九日 打切

(一) 工賃 八百圓也 (一日四十圓、割、契約、内容ニ基キ)
 (二) 深サ 二十九米 (九十五尺七寸)
 (三) 結果 二十九米ヨリ盤岩ニ當リダイナマイトヲ使用セザレバ盤井不可能ノ為一時中止セリ

第二号井 (海軍慰安所所用)

(一) 工事期間 五月二十日着手 十二月間
 六月二日完了
 (二) 工賃 四百八十圓也 (一日工賃四十圓割)
 (三) 深サ 二十八米 (九十二尺四寸)
 (四) 結果 水質検査、結果煮沸飲料水ト決定ス
 第三号井 (環山博愛會遊病院用)
 (一) 工事期間 五月二十日着手
 八月一日完了 七十日間
 (二) 工賃 千八百五十五圓五十錢也 (一日工賃五十錢割現地決定額)

(一) 深サ 九十一米三〇釐 (三百一尺三寸)
 (二) 結果 冗掃除其他、作業中ニシテ八月五日完了、見込水質良好

第四号井 (自動車公用)

第四号井ハ六月五日ヨリ着手シ六月九日迄五日間ニテ二十一米迄掘鑿シタルモ山崩壞甚タレク防遏作業不可能ニテ己ムナク最初、箇所ヲ放棄シ場所、変更ヲナシタリ
 (一) 工事期間 六月四日着手 十二日間
 六月十五日完了
 (二) 工賃 四百八十圓也 (一日四十圓割)
 (三) 深サ 十四米 (四十六尺二寸)
 (四) 結果 水質良好ニシテ煮沸飲料水ト決定ス
 第五号井 (秀英台第一農場用)

三省連絡會議、承認ヲ得、最初永興及烈樓市附近ニテ採石
 スヘク二回ニ亘リ石工十三名ヲ台灣ヨリ招致セシモ其後余地、治中
 ハ危險状態トナリ採石ヲ可能トナリタル為一時同石工ヲ難役ニ
 使役、已ハナキ状態ニアリタルモ六月十二日陸軍參謀長ニ之カ對
 策懇願、結果、今日十五日ヨリ海軍警備、下ニ設營隊ニ於
 テ採石中、烈樓ニ於テ採石、許可ヲ得、前記石工十三名(中
 内地人一名)、外海南島人石工三十名乃至三十五名使役
 シ採石ヲナス外一方海口市東^方約五里所在、潭口治安維持會
 ヲ今シ切石及砂利ヲ購入シツツアリ、而シテ從來烈樓ニ於テ
 七月十五日ヨリ八月一日迄、採石量ハ一万八千二百五十六個
 ニシテ又潭口ニ於テ五月十七日ヨリ七月九日迄ニ購入シタル
 切石ハ一万四千八十個(外ニ砂利三千九百二箱(石油箱)ニシテ採石

總數三万二千三百三十六個ナリ右ノ内製水工場ニ一万四千
 九百六十二個ヲ使甲シ一万七千五百餘個^個ノ在庫品ヲ有
 スル外一方、材料置場ノ負擔上積、送中止シ居ルタノ潭口
 ニテ購入留置中ノ分約七千個アリテ現在約二万五千個
 ノ石^石ナルが烈樓ニ於ケル採石ハ治安ノ負擔上石工ヲ朝
 晩^晚海口ヨリ(約十里^新)トシテ送迎ナシ雜費高外台
 灣人石工、給料高價ノ為潭口ヨリ購入スル一個、石^石一切、
 費用十四錢、三層ニ對シ一個、切三十五錢、余リヲ要シ
 非常ナル高價ナルノミナラス、石^石ノ在庫品ハ前記ノ如ク
 相當個數アリ又將來ノ建築用式モ今、處見透シツカサル
 状態ニシテ、留置ハ潭口ヨリ購入、石^石裁(一日約三百乃至四百
 個採石)ニテ充分向ニ合見^見ナリシヲ以テ台灣人石工ノ兼

ニシテ得タル如ク會員解台セシテレポートセリ
(一) 煉瓦並瓦

煉瓦及瓦モ本島、原料ヲ加工シテ使用スヘク煉瓦及瓦製
造者ハ名ラ台湾ヨリ招致シ海口及瓊山附近、土質調
査ヲナサセトタルモ本地附近ハ砂質土ニシテ粘土少ク製
品不可能ニテ更ニ海口、東々南約五里ヲ去ル龍塘附
近ハ從來燒物ノ産地トシテ知ラレタル所ナルヲ以テ特クニ
陸軍ノ護衛、下ニ調査ノ結果龍塘ヲ西方ニ去ル約
一里、西橋附近ニ豐富ナル粘土ト相當ノ雜木ヲ有シ
然モ製品ノ輸送ニ南渡江ノ支流ヲ利用シ得ル企
業適地ヲ發見シタルモ現地ハ治安甚ク危險ニシテ現
在、處創業、見込立タス又一方文昌市附近、調査

00174

モナシ文昌市附近ニ從來、煉瓦製造所所在シ居ル事ヲ確
認シタルモ是又治安ノ關係上充分ナル調査不可能ニテ現
在トシテハ斯業、見込立タサル為ニハナク台湾ヨリ招致シタル
製造業者一行歸台セシメナリ

以上、如ク現在ノ治安状態ニテハ今直チニ煉瓦起業ハ
困難ナル状態ニテラ以テ何トカ之カ代用品製造スヘク
考察ノ結果當地附近ノ赤土ニセメント及石灰ヲ混入
鍊令セテ普通煉瓦ノ型ニ作り之ヲ天日ニ乾燥セシメ所
謂天日煉瓦トトテモ稱スヘキモノヲ作製シタルトコ此較的
成績良好ナリシヲ以テ之ヲ試驗中ナルカ愈々使用見込
立テハ之ヲ製作シナス手配中ナリ

00175

四、建築協會對建物公司間ニハ去ル六月八日協會各代表

若赤島、陸軍少總督府事務官列席、下二別紙、
通り申命ヲナシタルモ、其後、全協會設立、有無不明ナルト
建築協會對建物の公司ト、諸種ノ関係並第一項、
將來ニ於ケル日本人街建設ニ付テハ、台板、立場乃
至ハ現地ノ實状等ヨリトモ考察シテ慎重^研討^要スル事
項ニ付キ、曩キニ歸台、坂井副参事持参、現地案ニ
基キ其ノ根柢本方針御決定ノ上、何分、御指示相
成候様致度

建物公司對建築協會ノ甲合事項

一 海南島ニ於テ建物公司カ引受クベキ建築事業ニ関シ株式
會社清水組大倉土木株式會社 田村組 合資會社桂商
會ハ海南島ニ於テ右四者ヲ打ソテ一凡トシタル建築協會ヲ結
成シ右建築ノ下請負ヲ爲シ以テ同公司事業ノ達成ニ協力
スルモノトス

二 建築諸材ノ購入及輸送ニ付テハ海南建物公司ニ於テ極力努力
スルモ建築協會ニ於テモ常ニ公司ト連繫ヲ保チ工事ノ進行ニ
支障ヲ来サザル様協カスルコト

三 製氷工場 博愛會海口病院 海軍調査團事務所及其附屬
建物ハ此際焦眉ノ急ニ逼リ居ル工事ナルヲ以テ過渡期ノ処
置トシテ現在既ニ當地ニ進出シ居ル組ニテ差シ當リ仕事スル

コトトシ左ノ通り決定スルモ爾後ノ工事ニ関シテハ建築協會
ニ於テ適當ニ工事ノ割當ヲナスコト

記

一海軍調査隊事務所及附屬建物

田村組

一製氷工場

清水組

一博愛會痲棟茅二期工事

清水組

四各組ヨリ設計技術者壹名宛ヲ出シ今後引續キ建築スル工事

ノ設計ニ當ラシムルコト

五工事ニ要スル資金ハ現在為替管理法ノ制限ヲ受ケ居ルヲ以

テ公司ハ出未得ル限リ資金ノ融通ヲ計ルコト

六資材ノ輸送ハ工事ニ支障ヲ来ササル様特ニ公司ニ於テ留

意スルコト

七職工及人夫ノ勞賃ハ公司及各組ニ於テ協定スルコト

以上

右之通り申合セ候也

昭和十四年六月八日

出席者

田村組 田村作太郎

桂商會 府馬俊一

大倉組 近藤藤太郎

清水組 鈴木猛

建物公司 長瀬信二

全 坂井春太